

【応募作品の概要・要旨など】 *A4 用紙 1 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作品の名称	※20 文字以内で記入 片手で開けられるもん
対象者の領域	※該当する項目()に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 ()、高齢者 ()、 その他 ()
自助具の分類	※該当する項目()に○を入れる。 食事動作 (○)、整容動作 ()、更衣動作 ()、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 () その他 ()
用具の種類	※該当する項目()に○を入れる。 工夫・改良品 (○)、個別製作品 () ※ 工夫・改良品 市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、 個別製作品 アイデアから個別に制作したオリジナルな物、とする
応募作品の概要	※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。 ●目的 片麻痺の方でも片手でペットボトルや水筒、ビンなども簡単に開けられる ●特徴 ・ ペットボトルや水筒・ビンなど太さが違うものでも使える ・ 随意性の低い方でも座ることができれば使用できる ・ 上肢だけではなく、体幹も使用して使える
工夫したポイント	・ 押す棒の面を痛くないように素材の物を使用した ・ 様々な大きさのものを固定できるようにするためにスマホホルダーを使用し、太さ調整を可能にした ・ 棒を真っ直ぐ押せるようにするために、高さを調節した
利用上の留意点	※使用上の留意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。 ・ 耐久性に欠けるため、滑り止めを強度にする ・ サイズが大きいため、テーブルとイスがある環境下での使用が必須

【応募作品の紹介】 *A4 用紙 2 枚以内にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作
製
の
準
備

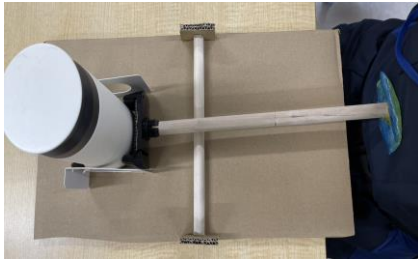
※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。

- ・ブックエンド
- ・段ボール
- ・滑り止めマット
- ・スマホホルダー
- ・木の棒
- ・お湯まる君
- ・ボンド

※作品の外、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

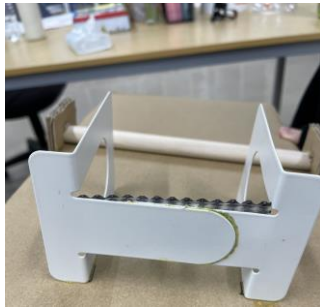
※画像は最大10枚とし、自助具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

1. 作品の外観



2. 作り方・製作過程

①ブックエンドを2つ固定する

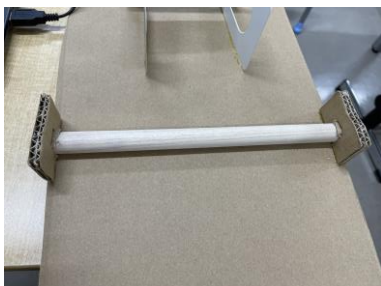


②スマホホルダーに木の棒を付け、お湯まる君で形成した体幹で押す面を反対側に付ける

③ブックエンドとスマホホルダーに滑り止めをつけ、段ボールに滑り止めを付ける



④棒で段差をつけ、真っ直ぐ押せるようにする



応
募
作
品
の
特
徴

3. 活用場面

●用途

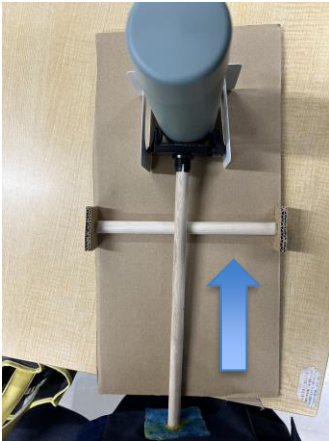
ペットボトルや水筒を開けるための自助具

●使用方法

- ①ブックエンドの間に物をはさめる
- ②ヌマホホルダーの大きさを対象物に合わせて調整する



- ③お腹を使って木の棒を押す



- ④対象物の蓋を開ける

応募
作品
の
特
徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている (○)、対象者に同意を得ていない (), 該当せず ()

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。